

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	3	担当部課名称	文化生涯学習部スポーツ推進課
事務事業名	体育館の管理・運営		
見直しのタイトル	総合体育館の利用時間の延長		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

本市のスポーツ施設のうち、体育館については総合体育館と市体育館の2館がある。両体育館とも主たる施設となる体育室（総合体育館）や競技室（市体育館）は稼働率が90%を超えており、施設利用の抽選倍率については5.1倍から7.6倍と高く、なかなか利用できないと言った利用者ニーズに 대응することができていない状況である。

昨今においては、多様化するライフサイクルに合わせ24時間営業する民間のトレーニングジムが開設されるなど柔軟に対応している施設も見受けられる。公共施設においても従来の固定概念にとらわれることなく、利用者ニーズを把握しながら、柔軟な対応が必要となっている。

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

新たな施設を建設するのではなく、既存施設の運営面での利用実績やアンケートを踏まえた中で新たな使用時間コマの追加を行う等、施設利用者の様々なライフサイクルに合わせた施設運営を行う。

具体的には、現状の施設における開館時間（9時から21時まで）や利用区分（1コマ・3時間）などについて施設利用者にアンケートを行い、利用者ニーズを把握した中で、新たな利用時間の延長についての検討を行う。

## 3 改善により期待できる効果

利用時間拡大による利用者の分散及び新規利用者の開拓。

仮に夜間の時間を延長すれば、仕事帰りの社会人層の利用を促進することが可能となる。

#### 4 実施スケジュール（概要）

平成30年度中に総合体育館にて利用者アンケートを行いニーズの把握をするほか、電子申請システムによる市民アンケートやメール配信サービス（健康づくり・運動登録者）等で、利用者だけでなく幅広く市民の意見を伺う。

#### 5 実施結果の振り返り

平成30年12月6日から平成31年1月20日まで総合体育館にて利用者アンケートと電子申請システムによる市民アンケートやメール配信サービス（健康づくり・運動登録者）を実施し、利用者だけでなく幅広く市民の意見を伺った。アンケート結果では、賛成と反対がほぼ半分ずつで反対が賛成を少々上回った程度であり、内トレーニング室の利用者の延長要望が賛成の意見をほぼ占めた。また周辺市町村のスポーツ施設等の開館時間調査や経費等の試算をしており、その結果、現在のニーズと動向、経費を考慮すると課題があることから、利用時間延長の実施は見送ることとした。